



2024年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東
コード番号 1605 URL <https://www.inpex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 脇田 嘉博 (TEL) 03-5572-0750
ジェネラルマネージャー
定時株主総会開催予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 2025年3月31日
有価証券報告書提出予定日 2025年3月31日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	2,265,837	4.7	1,271,789	14.1	1,298,811	3.6	434,238	30.6	427,344	32.8	878,096	42.3
2023年12月期	2,164,516	△6.5	1,114,189	△25.9	1,253,384	△13.3	332,576	△31.6	321,708	△35.5	616,945	△38.0

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	345.31	345.07	9.5	18.4	56.1
2023年12月期	248.55	248.38	8.0	19.0	51.5

(参考) 持分法による投資損益 2024年12月期 104,831百万円 2023年12月期 18,389百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	7,380,863	5,137,833	4,821,805	65.3	4,026.22
2023年12月期	6,739,476	4,499,033	4,209,101	62.5	3,345.22

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	654,737	△290,401	△349,937	241,675
2023年12月期	788,130	△320,116	△487,272	201,149

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	37.00	—	37.00	74.00	94,943	29.8	2.4
2025年12月期(予想)	—	43.00	—	43.00	86.00	105,223	24.9	2.3
	—	45.00	—	45.00	90.00		32.7	

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式（非上場）の配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,084,000	△9.0	576,000	△17.7	600,000	△15.9	180,000	△15.3	150.30
通期	2,119,000	△6.5	1,106,000	△13.0	1,157,000	△10.9	330,000	△22.8	275.55

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期	1,259,136,067株	2023年12月期	1,386,667,167株
② 期末自己株式数	2024年12月期	61,536,239株	2023年12月期	128,422,706株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	1,237,578,149株	2023年12月期	1,294,325,142株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式 (2024年12月期 827,850株、2023年12月期 891,560株) が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年12月期の個別業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	299,751	13.0	56,017	163.4	210,933	433.8	261,994	—
2023年12月期	265,246	10.0	21,262	—	39,517	△80.6	22,757	△90.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期	211.70	—
2023年12月期	17.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,743,233	1,950,841	71.1	1,628.96
2023年12月期	2,657,503	1,918,170	72.2	1,524.48

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,950,841百万円 2023年12月期 1,918,170百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度において、子会社である株式会社INPEX JAPANへ当社の国内における石油・天然ガス事業等を承継させたことにより収益構造が変化しました。その結果、2024年10月以降に発生した関係会社からの受取配当金・業務受託収入を営業収益として計上しております。また、2024年9月以前の関係会社からの受取配当金の増加及び関係会社株式売却益の計上や子会社である株式会社INPEXトレーディングとの吸収合併による抱合せ株式消滅差益の計上による影響等により、個別業績につきまして前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14,800.00	—	14,800.00	29,600.00
2024年12月期	—	17,200.00	—	17,200.00	34,400.00
2025年12月期 (予想)	—	18,000.00	—	18,000.00	36,000.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結財政状態計算書	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 生産、受注及び販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、コロナ禍の影響から脱却し、雇用・所得環境の改善等を中心に、緩やかな回復基調にありました。一方で、欧米における高い金利水準や中国経済減速に伴う影響等が我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響は引き続き懸念されています。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす国際原油価格は、代表的指標の一つであるブレント原油（期近物終値ベース）で当期は1バレル当たり75.89米ドルから始まり、OPEC+による減産緩和の影響やイスラエル・パレスチナ紛争を背景に一時的に乱高下する不安定な局面もありましたが、その後軟調に推移し、期末には74.64米ドルとなりました。これらを反映して、当期における当社グループの原油の平均販売価格は、前期に比べ、1バレル当たり1.63米ドル下落し、81.20米ドルとなりました。

一方、業績に重要な影響を与えるもう一つの要因である為替相場ですが、当連結会計年度は1米ドル143円台で始まりました。年前半は、日銀によるマイナス金利の解除があったものの、緩和的な金融政策の維持や堅調な米経済指標によりほぼ一貫して円安が進行し、6月末には161円台を付けました。7月下旬には日銀が政策金利引き上げを決定した一方、予想を下回る米雇用統計等の結果を受けて米連邦準備理事会（FRB）による利下げ開始観測が高まると日米金利差の縮小が意識され、9月には140円台まで円高が進行しました。10月以降は底堅い米国経済や次期米大統領の政策によりインフレが再燃するとの見方を背景にFRBによる利下げペース鈍化が示唆されたことで円安が進み、期末公示仲値（TTM）は前期末から16円35銭円安の158円17銭となりました。なお、当社グループ売上の期中平均レートは、前期に比べ、11円20銭円安の1米ドル151円73銭となりました。

このような事業環境の中、当社グループの当期連結業績につきましては、期中平均レートが円安に推移したことにより、売上収益は前期比1,013億円、4.7%増の2兆2,658億円となりました。このうち、原油売上収益は前期比1,040億円、6.5%増の1兆7,120億円、天然ガス売上収益は前期比27億円、0.5%減の5,251億円となりました。当連結会計年度の販売数量は、原油が前期比954千バレル、0.7%増の138,978千バレルとなり、天然ガスは前期比6,147百万立方フィート、1.3%減の473,667百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前期比6,268百万立方フィート、1.6%減の381,706百万立方フィート、国内天然ガスは、前期比3百万立方メートル、0.1%増の2,464百万立方メートル、立方フィート換算では91,961百万立方フィートとなりました。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり81.20米ドルとなり、前期比1.63米ドル、2.0%下落、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり5.73米ドルとなり、前期比0.11米ドル、2.0%上昇、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり78円24銭となり、前期比11円84銭、13.1%下落しております。売上収益の平均為替レートは1米ドル151円73銭となり、前期比11円20銭、8.0%の円安となりました。

売上収益の増加額1,013億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により67億円の増収、平均単価の下落により577億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより1,523億円の増収となりました。

一方、売上原価は前期比672億円、7.9%増の9,153億円、探鉱費は前期比274億円、106.0%増の533億円、販売費及び一般管理費は前期比387億円、40.5%増の1,345億円、その他の営業収益は前期比107億円、42.8%増の358億円、その他の営業費用は前期比925億円、74.6%減の315億円、持分法による投資利益は前期比864億円、470.1%増の1,048億円となりました。以上の結果、営業利益は前期比1,576億円、14.1%増の1兆2,717億円となりました。

金融収益は前期比678億円、31.2%減の1,494億円、金融費用は前期比443億円、56.8%増の1,224億円となりました。以上の結果、税引前利益は前期比454億円、3.6%増の1兆2,988億円となりました。

法人所得税費用は前期比562億円、6.1%減の8,645億円、非支配持分に帰属する当期利益は前期比39億円、36.6%減の68億円となりました。以上の結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比1,056億円、32.8%増の4,273億円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

当連結会計年度より報告セグメントを変更しており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、変更後の区分に基づく前連結会計年度数値を用いております。

① 国内石油・天然ガス事業（国内O&G）

ガス価の下落により、売上収益は前期比299億円、12.1%減の2,169億円となり、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比287億円、67.8%減の136億円となりました。

② 海外石油・天然ガス事業（海外O&G）－ イクシスプロジェクト

売上収益は前期比微増の3,732億円となりましたが、探鉱費の増加等により、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比616億円、19.9%減の2,482億円となりました。

③ 海外石油・天然ガス事業（海外O&G）－ その他のプロジェクト

円安及び販売数量の増加により、売上収益は前期比1,296億円、8.5%増の1兆6,579億円となり、減損損失の減少等により、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比1,649億円増の1,657億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は前連結会計年度末比6,413億円増の7兆3,808億円となりました。このうち、流動資産は現金及び現金同等物の増加等により、前連結会計年度末比317億円増の8,702億円、非流動資産は石油・ガス資産の増加等により、前連結会計年度末比6,095億円増の6兆5,106億円となりました。

一方、負債合計は前連結会計年度末比25億円増の2兆2,430億円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末比385億円減の5,336億円、非流動負債は前連結会計年度末比411億円増の1兆7,093億円となりました。

資本合計は前連結会計年度末比6,388億円増の5兆1,378億円となりました。このうち、親会社の所有者に帰属する持分は前連結会計年度末比6,127億円増の4兆8,218億円、非支配持分は前連結会計年度末比260億円増の3,160億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末の2,011億円に当連結会計年度中に増加した資金143億円及び、換算差額261億円を加えた結果、当連結会計年度末において2,416億円となりました。

当連結会計年度における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

非資金項目である金融収益の減少があったものの、法人所得税の支払額の増加や営業債権及びその他の債権の増加等により、営業活動の結果得られた資金は前期比1,333億円減の6,547億円となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

長期貸付けによる支出の増加等があったものの、投資の取得による支出の減少や持分法で会計処理される投資の取得による支出の減少等により、投資活動の結果使用した資金は前期比297億円減の2,904億円となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出の減少やコマーシャル・ペーパーの純増減額の増加等により、財務活動の結果使用した資金は前期比1,373億円減の3,499億円となりました。

(4) 今後の見通し

通期	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (予想)	増減率
売上収益 (億円)	22,658	21,190	△6.5%
営業利益 (億円)	12,717	11,060	△13.0%
税引前利益 (億円)	12,988	11,570	△10.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	4,273	3,300	△22.8%

次期の見通しにつきましては、売上収益は、第2四半期連結累計期間で当期比9.0%減収の1兆840億円、通期では当期比6.5%減収の2兆1,190億円を見込んでおり、営業利益は、第2四半期連結累計期間で当期比17.7%減益の5,760億円、通期では当期比13.0%減益の1兆1,060億円を見込んでおります。

また税引前利益は、第2四半期連結累計期間で当期比15.9%減益の6,000億円、通期では当期比10.9%減益の1兆1,570億円となる見込みであり、親会社の所有者に帰属する当期利益は、第2四半期連結累計期間で当期比15.3%減益の1,800億円、通期では当期比22.8%減益の3,300億円となる見込みです。

売上収益については、イクシスを始めとする主要プロジェクトにおいて、概ね当期並みの生産活動を維持する中で、前提を当期比で油価安に設定したこと等により、通期で減収の見込みとなっております。営業利益についても、イクシスプロジェクトにおける計画シャットダウンメンテナンス等を要因とした持分法による投資利益の減少等により、当期比で減益となる見込みです。従って、税引前利益および当期利益についても、上記理由に応じて、当期比で減益となる見込みです。

なお、上記見通しは、油価（ブレント）を、1バレル当たり第1四半期平均で77米ドル、第2四半期平均で75米ドル、第3四半期平均で75米ドル、第4四半期平均で73米ドル、通期平均で75米ドル、為替レートを、年度を通じて1米ドル153円として算出しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

2022年2月に公表しました「長期戦略と中期経営計画（INPEX Vision @2022）」でお示した還元方針においては、2022年度から2024年度の中期経営計画期間中は、総還元性向40%以上を目途とし、1株当たりの年間配当金の下限を30円に設定するなど、安定的な配当を基本としつつ、事業環境、財務体質、経営状況等を踏まえた自己株式取得を含む、業績の成長に応じた株主還元強化に取り組むことを基本方針としておりました。

上記還元方針を踏まえ、当事業年度の剰余金の配当につきまして、普通株式の期末配当金は1株当たり43円とし、中間配当金の1株当たり43円とあわせ、1株当たり年間86円を予定しております。また、甲種類株式（非上場）の期末配当金は1株当たり17,200円とし、中間配当金の1株当たり17,200円とあわせ、1株当たり年間34,400円を予定しております。

2025年2月13日公表の「2025-2027 中期経営計画」でお示した株主還元方針において、2025年度から2027年度の中期経営計画期間中は、1株当たり年間90円を起点とする累進配当による安定的な還元に加え、事業環境や財務・経営状況を踏まえつつ機動的な自己株式取得も行うことで総還元性向50%以上を目指し、業績の成長にあわせて株主還元を強化していくことを基本方針としております。

次期の配当予想額につきましては、普通株式は1株当たり中間配当金45円、期末配当金45円の1株当たり年間90円を予定しております。また、甲種類株式は1株当たり中間配当金18,000円、期末配当金18,000円の1株当たり年間36,000円を予定しております。

なお、2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務情報の国際的な比較可能性と会計処理統一によるグループ経営管理の向上を目的として、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	201,149	241,675
営業債権及びその他の債権	232,017	267,476
棚卸資産	69,856	67,241
未収法人所得税	10,640	6,982
貸付金	42,350	45,659
その他の金融資産	227,068	166,400
その他の流動資産	37,992	57,430
小計	821,075	852,865
売却目的で保有する資産	17,341	17,341
流動資産合計	838,417	870,206
非流動資産		
石油・ガス資産	3,601,558	3,855,226
その他の有形固定資産	25,481	28,864
のれん	20,471	20,515
無形資産	9,033	17,015
持分法で会計処理されている投資	751,903	948,075
貸付金	1,306,529	1,433,298
その他の金融資産	95,890	123,557
退職給付に係る資産	896	904
繰延税金資産	72,977	64,555
その他の非流動資産	16,316	18,644
非流動資産合計	5,901,058	6,510,656
資産合計	6,739,476	7,380,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	207,913	192,576
社債及び借入金	161,059	193,847
その他の金融負債	40,808	54,951
未払法人所得税	131,721	63,960
資産除去債務	19,018	15,277
その他の流動負債	11,690	13,050
流動負債合計	572,212	533,663
非流動負債		
社債及び借入金	895,923	870,064
その他の金融負債	66,025	62,950
退職給付に係る負債	803	1,321
資産除去債務	369,483	381,660
繰延税金負債	332,940	388,217
その他の非流動負債	3,054	5,151
非流動負債合計	1,668,230	1,709,366
負債合計	2,240,442	2,243,029
資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,131	458,254
利益剰余金	2,746,530	3,073,530
自己株式	△221,330	△131,235
その他の資本の構成要素	713,959	1,130,446
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,209,101	4,821,805
非支配持分	289,932	316,027
資本合計	4,499,033	5,137,833
負債及び資本合計	6,739,476	7,380,863

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	2,164,516	2,265,837
売上原価	△848,080	△915,310
売上総利益	1,316,435	1,350,527
探鉱費	△25,901	△53,350
販売費及び一般管理費	△95,747	△134,512
その他の営業収益	25,094	35,832
その他の営業費用	△124,081	△31,537
持分法による投資損益	18,389	104,831
営業利益	1,114,189	1,271,789
金融収益	217,310	149,491
金融費用	△78,116	△122,469
税引前利益	1,253,384	1,298,811
法人所得税費用	△920,807	△864,573
当期利益	332,576	434,238
当期利益の帰属		
親会社の所有者	321,708	427,344
非支配持分	10,867	6,894
当期利益	332,576	434,238
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	248.55	345.31
希薄化後1株当たり当期利益(円)	248.38	345.07

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期利益	332,576	434,238
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
在外営業活動体の換算差額	—	△17,709
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,460	△2,309
確定給付制度の再測定	△1,406	△183
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,054	△20,201
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	337	△2,376
在外営業活動体の換算差額	285,720	477,352
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△209	△130
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2,533	△10,785
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	283,315	464,059
その他の包括利益 (税効果控除後)	284,369	443,857
当期包括利益	616,945	878,096
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	591,848	842,911
非支配持分	25,096	35,184
当期包括利益	616,945	878,096

(3) 連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2023年1月1日残高	290,809	679,113	2,521,998	△121,358	423,504	32,421
当期利益	—	—	321,708	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	271,491	△2,196
当期包括利益合計	—	—	321,708	—	271,491	△2,196
自己株式の取得	—	—	—	△99,999	—	—
自己株式の処分	—	△28	—	28	—	—
配当金	—	—	△90,176	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△159	—	—	—	—
株式報酬取引	—	205	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△7,000	—	—	—
所有者との取引額合計	—	18	△97,176	△99,971	—	—
2023年12月31日残高	290,809	679,131	2,746,530	△221,330	694,996	30,224

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2023年1月1日残高	△19,107	—	436,818	3,807,381	261,178	4,068,560
当期利益	—	—	—	321,708	10,867	332,576
その他の包括利益	2,251	△1,406	270,140	270,140	14,229	284,369
当期包括利益合計	2,251	△1,406	270,140	591,848	25,096	616,945
自己株式の取得	—	—	—	△99,999	—	△99,999
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△90,176	△8,294	△98,471
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△159	11,952	11,792
株式報酬取引	—	—	—	205	—	205
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	5,594	1,406	7,000	—	—	—
所有者との取引額合計	5,594	1,406	7,000	△190,129	3,657	△186,472
2023年12月31日残高	△11,261	—	713,959	4,209,101	289,932	4,499,033

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年1月1日残高	290,809	679,131	2,746,530	△221,330	694,996	30,224
当期利益	—	—	427,344	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	431,352	△13,162
当期包括利益合計	—	—	427,344	—	431,352	△13,162
自己株式の取得	—	—	—	△130,000	—	—
自己株式の処分	—	△95	—	95	—	—
自己株式の消却	—	△219,999	—	219,999	—	—
配当金	—	—	△100,278	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△983	—	—	855	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	200	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△64	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△220,877	△100,343	90,094	855	—
2024年12月31日残高	290,809	458,254	3,073,530	△131,235	1,127,203	17,062

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2024年1月1日残高	△11,261	—	713,959	4,209,101	289,932	4,499,033
当期利益	—	—	—	427,344	6,894	434,238
その他の包括利益	△2,440	△183	415,566	415,566	28,290	443,857
当期包括利益合計	△2,440	△183	415,566	842,911	35,184	878,096
自己株式の取得	—	—	—	△130,000	—	△130,000
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△100,278	△16,087	△116,365
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	855	△128	7,266	7,138
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△268	△268
株式報酬取引	—	—	—	200	—	200
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△118	183	64	—	—	—
所有者との取引額合計	△118	183	919	△230,206	△9,089	△239,295
2024年12月31日残高	△13,820	—	1,130,446	4,821,805	316,027	5,137,833

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	1,253,384	1,298,811
減価償却費及び償却費	319,608	359,230
減損損失	100,890	21,704
資産除去債務の増減額(△は減少)	9,597	△2,515
金融収益及び費用(△は益)	△139,194	△27,021
為替差損益(△は益)	△12,437	△7,043
持分法による投資損益(△は益)	△18,389	△104,831
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,204	718
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	75,828	△17,795
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△28,888	△15,571
その他	6,243	16,869
小計	1,570,847	1,522,554
利息の受取額	107,978	120,453
配当金の受取額	9,079	21,424
利息の支払額	△63,059	△58,938
法人所得税の支払額	△836,716	△950,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,130	654,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,145	△180,689
定期預金の払戻による収入	26,831	223,306
探鉱・評価資産の取得による支出	△47,985	△47,678
開発・生産資産の取得による支出	△202,665	△244,404
その他の有形固定資産の取得による支出	△1,484	△8,979
投資の取得による支出	△432,325	△293,284
投資の売却及び償還による収入	312,727	315,499
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△76,549	△23,916
事業の取得による支出	—	△40,907
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△1,999	1,531
長期貸付けによる支出	△4,027	△76,629
長期貸付金の回収による収入	152,153	93,379
その他	△6,645	△7,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,116	△290,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	79,980
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,121	△23,230
長期借入れによる収入	102,895	75
長期借入金の返済による支出	△403,599	△143,405
リース負債の返済による支出	△20,119	△24,160
自己株式の取得による支出	△99,999	△130,000
配当金の支払額	△90,147	△100,248
非支配持分からの払込みによる収入	11,792	7,138
非支配持分への配当金の支払額	△8,294	△16,087
その他	80	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△487,272	△349,937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,258	14,398
現金及び現金同等物の期首残高	208,238	201,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,169	26,126
現金及び現金同等物の期末残高	201,149	241,675

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、報告セグメントの決定にあたっては事業セグメントの集約を行っていません。

当社グループはグローバルに石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融资、すなわち「石油・天然ガス事業（以下「O&G」という。）」を主たる事業としており、報告セグメントを「国内O&G」及び「海外O&G」に区分し、「海外O&G」については、当社グループの主要オペレーター・プロジェクトである「イクシスプロジェクト」とそれ以外の海外プロジェクトから構成される「その他のプロジェクト」に区分しております。また、ネットゼロ5分野等、報告セグメントに含まれない事業については「その他」の区分としております。

当連結会計年度より、2024年10月1日付の組織改編に伴い、従来「その他」の区分に含まれていた一部の事業について、報告セグメントの区分を「国内O&G」へ変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

報告セグメント及びその他の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント等		主な事業及びプロジェクト名
国内O&G		南長岡ガス田、直江津LNG基地等
海外O&G	イクシスプロジェクト	豪州イクシス及び周辺探鉱
	その他のプロジェクト	豪州（イクシス除く）・東南アジア・欧州・アブダビ等におけるプロジェクト
その他		ネットゼロ5分野、原油販売代理仲介事業等

(2) セグメント収益及び業績

報告セグメントの利益は連結損益計算書の親会社の所有者に帰属する当期利益で表示しております。セグメント間の取引は独立企業間価格で行っております。

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上収益							
外部収益	246,940	373,173	1,528,264	16,138	2,164,516	—	2,164,516
セグメント間収益	—	20,446	—	8,693	29,140	△29,140	—
合計	246,940	393,619	1,528,264	24,832	2,193,657	△29,140	2,164,516
探鉱費	△7,112	△8,976	△9,811	—	△25,901	—	△25,901
持分法による投資損益(注) 3	—	39,219	6,614	△27,444	18,389	—	18,389
金融収益	12	191,271	22,772	1,710	215,766	1,544	217,310
金融費用	△846	△29,437	△44,757	△2,474	△77,516	△600	△78,116
法人所得税費用	△15,831	△87,610	△796,261	△3,599	△903,303	△17,504	△920,807
セグメント利益又は損失(△) (その他の項目)	42,425	309,898	746	△16,716	336,354	△14,645	321,708
減価償却費及び償却費	19,905	128,596	168,547	341	317,390	2,218	319,608
減損損失(注) 3	—	—	100,890	—	100,890	—	100,890
探鉱・開発投資等(注) 4	10,975	104,254	142,527	77,357	335,115	—	335,115

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社損益△14,949百万円及びセグメント間消去取引303百万円が含まれております。全社損益は、主に当社グループ全体で管理している為替差損益△2,738百万円、親会社及び金融子会社の法人所得税費用のうち全社に帰属する金額△17,504百万円等であります。
 - (2) 減価償却費及び償却費の調整額は、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない減価償却費及び償却費であります。
- 3 減損損失は石油・ガス資産の減損損失であり、持分法で会計処理されている投資の減損損失は持分法による投資損益に含めております。
- 4 探鉱・開発投資等は、主に石油・ガス資産のうち探鉱・評価資産及び開発・生産資産の取得による支出や石油・天然ガス・再生可能エネルギー等のプロジェクトへの参画及び追加投資に伴う株式取得支出に係る期中発生分の合計であり、当該金額には共同支配企業であるイクシス下流事業会社(Ichthys LNG Pty Ltd)における投資のうち当社グループの持分相当額を含めております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上収益							
外部収益	216,953	373,263	1,657,921	17,699	2,265,837	—	2,265,837
セグメント間収益	—	21,924	—	7,026	28,951	△28,951	—
合計	216,953	395,187	1,657,921	24,726	2,294,789	△28,951	2,265,837
探鉱費	△1,803	△42,790	△8,756	—	△53,350	—	△53,350
持分法による投資損益	—	93,257	14,213	△2,639	104,831	—	104,831
金融収益	3	116,745	26,220	2,524	145,493	3,997	149,491
金融費用	△893	△58,600	△54,689	△4,785	△118,969	△3,499	△122,469
法人所得税費用	△5,365	△46,982	△810,736	2,574	△860,509	△4,063	△864,573
セグメント利益又は損失(△) (その他の項目)	13,663	248,239	165,711	△14,545	413,069	14,274	427,344
減価償却費及び償却費	18,920	130,331	206,619	490	356,361	2,868	359,230
減損損失(注) 3	—	1,954	19,749	—	21,704	—	21,704
探鉱・開発投資等(注) 4	14,325	119,122	177,777	8,314	319,540	—	319,540

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額には、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社損益14,311百万円及びセグメント間消去取引△36百万円が含まれております。全社損益は、主に当社グループ全体で管理している為替差損益13,968百万円、親会社及び金融子会社の法人所得税費用のうち全社に帰属する金額△4,063百万円等であります。

(2) 減価償却費及び償却費の調整額は、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない減価償却費及び償却費であります。

3 減損損失は石油・ガス資産の減損損失であります。

4 探鉱・開発投資等は、主に石油・ガス資産のうち探鉱・評価資産及び開発・生産資産の取得による支出や石油・天然ガス・再生可能エネルギー等のプロジェクトへの参画及び追加投資に伴う株式取得支出に係る期中発生分の合計であり、当該金額には共同支配企業であるイクシス下流事業会社(Ichthys LNG Pty Ltd)における投資のうち当社グループの持分相当額を含めております。

(1株当たり情報)

基本的及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (百万円)	321,708	427,344
親会社の普通株主に帰属しない当期利益 甲種類株式への配当額 (百万円)	△0	△0
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 (百万円)	321,708	427,344
利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 (百万円)	321,708	427,344
期中平均普通株式数 (株)	1,294,325,142	1,237,578,149
希薄化性潜在的普通株式の影響 役員報酬BIP信託 (株)	897,292	848,454
希薄化後平均株式数 (株)	1,295,222,434	1,238,426,603
基本的1株当たり当期利益 (円)	248.55	345.31
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	248.38	345.07

(注) 基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定において、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(普通株式)を自己株式として処理していることから、期中平均普通株式数から当該株式数を控除しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当連結会計年度より報告セグメントを変更しており、前連結会計年度の数値は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称		区分	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
国内O&G		原油	0.9百万バレル (日量2.5千バレル)	0.8百万バレル (日量2.2千バレル)
		天然ガス	34.4十億CF (日量94.3百万CF)	30.1十億CF (日量82.3百万CF)
		小計	7.2百万BOE (日量19.7千BOE)	6.3百万BOE (日量17.2千BOE)
		ヨウ素	541.4t	558.4t
		発電	183.8百万kWh	189.3百万kWh
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	12.3百万バレル (日量33.7千バレル)	11.8百万バレル (日量32.3千バレル)
		天然ガス	354.2十億CF (日量970.5百万CF)	344.2十億CF (日量940.5百万CF)
		小計	80.4百万BOE (日量220.2千BOE)	78.0百万BOE (日量213.3千BOE)
	その他の プロジェクト	原油	126.5百万バレル (日量346.6千バレル)	127.9百万バレル (日量349.4千バレル)
		天然ガス	87.4十億CF (日量239.4百万CF)	101.1十億CF (日量276.3百万CF)
		小計	142.5百万BOE (日量390.4千BOE)	146.5百万BOE (日量400.4千BOE)
		硫黄	153.1千t	159.7千t
	その他		発電	1,542.6百万kWh
合計		原油	139.7百万バレル (日量382.8千バレル)	140.5百万バレル (日量383.9千バレル)
		天然ガス	476.1十億CF (日量1,304.3百万CF)	475.5十億CF (日量1,299.1百万CF)
		小計	230.1百万BOE (日量630.3千BOE)	230.9百万BOE (日量630.8千BOE)
		ヨウ素	541.4t	558.4t
		硫黄	153.1千t	159.7千t
		発電	1,726.4百万kWh	2,272.0百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は関連会社等の持分を含みます。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前連結会計年度は原油147.1百万バレル(日量403.1千バレル)、天然ガス486.0十億CF(日量1,331.4百万CF)、合計239.5百万BOE(日量656.0千BOE)、当連結会計年度は原油147.9百万バレル(日量404.2千バレル)、天然ガス477.9十億CF(日量1,305.8百万CF)、合計239.8百万BOE(日量655.2千BOE)となります。

- 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
 6 ヨウ素は、他社への委託精製によるものであります。
 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称		区分	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)		当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	
			販売量	売上収益	販売量	売上収益
国内O&G		原油	412千バレル	4,539	317千バレル	3,725
		天然ガス (LPGを除く)	91,840百万CF	222,351	91,961百万CF	192,781
		その他		20,048		20,447
		小計		246,940		216,953
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	12,526千バレル	144,859	12,343千バレル	150,739
		天然ガス (LPGを除く)	327,735百万CF	228,313	309,674百万CF	222,523
		小計		373,173		373,263
	その他の プロジェクト	原油	125,086千バレル	1,448,005	126,319千バレル	1,544,937
		天然ガス (LPGを除く)	60,239百万CF	77,040	72,032百万CF	109,591
		その他		3,218		3,392
		小計		1,528,264		1,657,921
	その他		原油	—	10,564	—
天然ガス (LPGを除く)			—	181	—	283
その他				5,393		4,753
小計				16,138		17,699
合計		原油	138,024千バレル	1,607,968	138,978千バレル	1,712,064
		天然ガス (LPGを除く)	479,814百万CF	527,887	473,667百万CF	525,180
		その他		28,660		28,593
		合計		2,164,516		2,265,837